

からこんにちは！

大雨に負けず 一学期スタート

8月8・9日の大雨により西ノ島町でもたくさんの方が被害が出ました。西ノ島小中学校でも、中庭ウッドデッキエリアの排水が追い付かず一階校舎内へ雨水が入り込みました。とりわけ職員室・校長室は被害が大きく電気・通信機器が停止状態になりました。教育委員会職員の協力のもと盆の期間も乾燥を徹底し何とか復旧を果たしました。

また、校庭に流れ込んだ土砂、学校へ上がる坂道のアスファルトの陥没、芋畑付近の法面の崩落もありました。西ノ島町役場や各事業所のお陰で速やかに復旧していただき、二学期を迎えることができました。本当にありがとうございました。

小学校

西ノ島で開催 島前陸上大会

8月の大雨により海士中学校グラウンド法面が崩れ島前陸上大会の開催が危ぶまれました。しかし、会場を西ノ島小中学校に変更し、9月23日(木)に無観客ではありましたが、大会を開催することができました。本校からは3年生以上が参加しました。

大会本番に向け、練習では6年生を中心に、声を出し合い、励ま

し合いながら一生懸命練習する姿がみられました。また、初参加の3年生は、上学年に支えられながら闘志全開で練習に励み、めきめきと力をつけていきました。

当日は、いい結果が残せた児童、悔いが残る結果に終わった児童と違いはそれぞれですが、一人一人が西ノ島の代表として全力で競技する姿は、とても清々しかったです。大会を行うにあたり、ご家庭・地域でのたくさんのご協力、応援ありがとうございました。

主な結果は次のとおりです。

【上位入賞者】

●3年生男子

100m 第1位 栗木 翔楽
第3位 山根 賢吾
800m 第1位 栗木 翔楽
(大会新記録 2分48秒5)

●3年生女子

100m 第3位 白野 心晴
600m 第2位 竹谷 優心
第3位 池田 有莉
第6位 小松 駿介

●4年生男子

100m 第1位 栗木 琥珀
800m 第2位 栗木 琥珀

●4年生女子

100m 第1位 島津 心春
600m 第1位 島津 心春
第3位 伊藤 希実

●中学年男子 400mリレー

第1位 西ノ島小A

●中学年女子 400mリレー

第1位 西ノ島小A

(小新、島津、宇野、伊藤)



▲スムーズなバトンパス！

●5年生女子

100m 第2位 山根 一夏
第3位 杉山 莉菜
800m 第1位 山根 一夏
第3位 杉山 莉菜

走幅跳 第4位 伊藤 璃喜
第1位 山本 梨佳
第3位 犬谷 琴子

●6年生男子

100m 第1位 富谷 太智
1000m 第1位 富谷 太智

●6年生女子

走幅跳 第3位 富谷 太智
第4位 丸井 悠翔
第6位 柳樂 陸斗
100m 第1位 富谷 太智

●6年生女子

100m 第1位 浅岡 志美
第2位 ラッセル・シドニー
800m 第1位 小松 由奈
第2位 ラッセル・シドニー

●高学年男子 400mリレー

第3位 西ノ島小A

●高学年女子 400mリレー

第1位 西ノ島小A

(吉谷、富谷、大野、山崎)

(ラッセル、山根一、小松、浅岡)

(山本、杉山、池田、常盤)

●全学年男子走高跳

第2位 大野 朔矢

●全学年女子走高跳

第1位 ラッセル・シドニー



▲長距離の様子



▲「がんばれー！」と声援を送る児童たち

西ノ島小中学校

中学校

ふるさと演劇 発表会

9月18日(土)、ノアホールにおいて、第15回「ふるさと演劇発表会」を行いました。52名の全校生徒が二班に分かれ、島前神楽と東日本大震災を題材にした「きつと、星のせいじゃない」と、第二次世界大戦後もシベリアで収容され、日本人に希望を与え続けた西ノ島町出身の山本幡男さんの生き方を劇にした「海鳴りがきこえる」を上演しました。

二学期が始まると、生徒たちはセリフ覚えや動きの練習だけでなく、大背景を描いたり、大道具や小道具の製作、音響や照明の合わせをしたりと、感動的な演劇にしようとして協力しながら前向きに取り組みました。山本幡男さんについては、小6と中1が「先人の功績を学ぶ」をテーマに、一学期から共同で調べ学習を行いました。発表会当日、小6児童は3グループに分かれ、「人物」「収容所での衣食住」「収容所での希望」について堂々と発表しました。今回も新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、観客を保護者の方のみに制限させていただきました。そんな中でも、生徒たちは演劇を通してふるさと西ノ島のよさを発見し、本番では音響・照明も相まって迫真の演技を披露し、来場された皆

様にも満足いただけた発表会になりました。
ご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。



▲「海鳴りがきこえる」の一場面

ー生徒の感想ー

『海鳴りがきこえる』

3年

田中 嶺桜

演劇発表会本番では、役者として演技を大きくでき、大きな声でセリフを言うことができました。カーテンコールでは「じょんじょん」のかけ声を発することができ、メンタル面が成長したと思います。演劇活動を通して、みんなが協力して一つの劇を作り上げるこ

との大切さを学びました。みんなをまとめられるようになってきていると思うので、今後の生活にも生かしていきたいです。

3年 清水 麗

みんなと演劇練習をしていくうちに、演技をするのが楽しくなつて、演劇が終わって少し悲しい気持ちになりました。終わった時に、「この役でよかった」「この班でよかった」と感じました。演劇活動を通して、最後までやり切ることが大切だと思いました。これから、小中合同運動会や校内音楽会、駅伝大会などがあるので、どの行事も最後まで粘り強く、みんなが協力することを、続けて取り組みたいです。



▲「きつと、星のせいじゃない」の一場面

『きつと、星のせいじゃない』

3年 伊藤 遥斗

演劇を通して、島前神楽と東日本大震災について学びました。地元で伝わる伝統を大切にしたい気持ちと、他地域の災害を「自分ごと」として捉えなければ、と思いましたが、今まであまり話したことのない下級生とも交流することができ、演劇の内容にもあった「友だちの支え」はとても大切だと思いました。本番では人前で発表することに對して、「恥ずかしい」という気持ちを越えて、堂々と演技をすることができて良かったです。

3年 藤井 琴花

演劇で役者として怒ったりキレたりする演技をするのは初めてでしたが、自分の殻を破って挑戦することができました。役者の人は自分たちで考え、台本にセリフを付け加えたり動きを考えたりして、自主的に役づくりをしています。演劇は、役者や、音響、照明、先生、ノアホールの方、島前神楽について教えていただいた松新さんなど、いろいろな人が関わってくださってできました。何か活動をする時には支える方々がおられることに感謝の気持ちをこれからも持ち続けたいです。